

| | |
|-------------------|---|
| 科目コード | N416 |
| 授業科目名 | 産業看護学実習 |
| 授業科目名(英文) | Field Practice in Occupational Health Nursing |
| 講義室等 | 実習施設 |
| 学科 | 看護学科 |
| 対象学年 | 4年 |
| 開講学期 | 前学期 |
| 必修・選択の別 | 選択 |
| 単位数 | 1 |
| 時間数 | 45 |
| 該当ディプロマ | ◎看DP-4 |
| 該当コンピテンス | ◎看CP-6、○看CP-7、△看CP-5 |
| 学科 | |
| 対象学年 | |
| 開講学期 | |
| 必修・選択の別 | |
| 単位数 | |
| 時間数 | |
| 該当ディプロマ | |
| 該当コンピテンス | |
| 担当教員 | 栗山 知子 |
| 授業の概要 | 実際の労働現場で産業保健活動を担っている看護職や産業医等の専門職や関連職種から指導を受け、健康支援活動や職場巡視等の見学実習を行う。 それにより、労働現場における産業保健スタッフの支援や関わりの実際を学び、産業保健活動で看護職に求められる視点と相応しい姿勢を養うことをめざす。 |
| 授業の到達目標 (学修効果) | 1. 産業保健を担う体制と関連する活動の概要を把握する。 2. 働く人への健康支援のあり方を理解する。 3. 組織の健康度を上げていく取り組みにおける看護職の役割を学ぶ。 4. 産業保健活動において、協働する職種や部門との連携の実際を把握し、看護職に求められる役割や専門性を考える。 なお、実習目標の詳細(下位目標)は産業看護学実習の手引きを参照のこと。 |
| 予習復習の所要時間 | 実習時間45時間 |
| 成績評価方法 | 臨地実習指導者や指導担当教員の意見を参考に、実習への取り組み姿勢(事前学習、実習中の参加姿勢や態度、事後学習)(40%)、実習記録およびレポート(40%)、全体討議への参加状況(20%)で60点以上を合格とする。 |
| 教科書 | 産業看護学をはじめとした関連科目で使用した教科書、参考書、授業資料等 |
| 参考書 | 「産業保健看護学—基礎から応用・実践まで—」(産業医学振興財団) 「労働衛生のしおり」最新版(中央労働災害防止協会編) |
| その他 | 保健師国家試験受験に必要な科目 *詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。 |

N416

産業看護学実習

令和8年度

授業計画(臨地実習・卒業研究)

| | | 実習内容・実習場所 | 実習の形態 | 実習担当者 |
|---|-------|------------------------|--|-------|
| 1 | 1日目 | 全体オリエンテーション、実習地域での自己学習 | ①産業看護学実習の手引きを用いてオリエンテーションを行う ②各担当教員が事前学習状況の確認および助言を行う ③実習先への移動 | |
| 2 | 2～4日目 | 1日につき1施設、計3施設の見学実習 | ①現地講義 ②職場見学(職場巡視の視点を持ち、臨地実習指導者からの説明を受ける) ③カンファレンス | |
| 3 | 5日目 | 全体討議 | ①グループ毎に、各実習施設での学びをまとめ、発表する ②学生間で質疑応答およびディスカッションを行う ③教員からのフィードバック | |